

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日  
平成 29 年 3 月 24 日

事務事業名		旧真壁郵便局の管理運営事業			事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け			新規/継続	継続	事務事業No.	030502000911
総合計画の施策名		0305	文化財の保存・活用		単独/補助	単独	所属課	060201
政策名		03	豊かな心と生きがいを育む教育・文化づくり		主要事業		都市整備課	
施策名		05	文化財の保存・活用		市長マニフェスト			
基本事業名		02	文化財の活用		未来PJ事業		グループ	都市政策グループ
		財務会計上の位置付け			事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計	
	01	10	05	80	01	00	単年度繰返し (平成23年度~)	
法令根拠	文化財保護法・桜川市旧真壁郵便局の設置及び管理に関する条例・同施行規則							

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
① 事務事業の概要 (事務事業の全体像)	② 担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>【事務事業の内容】 旧真壁郵便局の貸し出し、管理業務を行う。 施設は、条例により有償で会議やイベントに使用できる。 また、使用申請が無い日であっても、年末年始を除き一般開放され、施設内を自由に見学することができる。 トイレ等を整備したことにより来訪者への利便施設として活用されている。</p> <p>【事業費の内訳】 施設の電気料、上下水道使用料。 管理委託等の契約。</p>	申し込み受付、光熱水費の支払い。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
① 手段 (担当者の活動内容)	④ 活動指標 (活動量を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
申し込み受付、光熱水費の支払い。	貸出件数	件	6.00	45.00	50.00	50.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
市民・来訪者	施設利用者数 (使用申請に記載された人数)	人	102.00	250.00	250.00	250.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③ 意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥ 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
文化財の公開をする	公開日数	日	359.00	359.00	359.00	359.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	期間限定総投入量
投入量	事業費内訳	国庫支出金 千円	0	0	0	0	0
		県支出金 千円	0	0	0	0	0
		地方債 千円	0	0	0	0	0
		使用料・手数料 千円	0	1	0	0	0
		その他 千円	1	0	13	13	0
		一般財源 千円	496	586	-13	487	0
	事業費計 (A) 千円	497	587	0	500	0	
人件費	正規職員従事人数 人	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人	0.00人	
	述べ業務時間 時間	60.00	40.00	10.00	10.00	0.00	
	人件費計 (B) 千円	174	116	29	29	0	
トータルコスト (A)+(B) 千円		671	703	29	529	0	

事業費の内訳	28年度事業費 実績 (千円)			29年度事業費 予算 (千円)		
	11 需用費	234				
	13 委託料	323				
	14 使用料及び賃借料	30				
	合計	587			合計	0

(4) 当該年度の実施内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容
<p>※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主要事業</li> <li>・市長マニフェスト</li> <li>・未来PJ事業</li> <li>・合併建設計画事業</li> </ul>			

事務事業名	旧真壁郵便局の管理運営事業	事務事業No.	30502000911	所属課	都市整備課
-------	---------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	平成22年度に旧真壁郵便局を公有化したため
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	常時、管理人か案内人を配置してほしい。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	文化財施設としての公開が基本であるため、一般の利用には制限がある。 旧高久家住宅など諸施設の活用、管理を再編し、利用率向上を図る必要がある。 将来は、維持管理費の削減のために指定管理者制度を導入すれば向上の余地はある。
改革改善を行う	

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	重要伝統的建造物群保存地区の核となる公開施設とな
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	重要伝統的建造物群保存地区の中心にある観光の核となる施設であるため。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	開館日数は、条例により年末の休館以外は開放しており、それ以上となると、地元への負担が増してしまうため。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	地区のインフォメーションとして活用されているため、休止すると街並み案内に支障がでる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる	指定管理者制度の導入
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	住民団体を指定管理者にして、維持管理を行うことにより管理費の削減が図れる。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	利用に制限を設けておらず、費用も光熱水費に該当する分としている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	今年度より近接する真壁伝承館(生涯学習課)が常時開館となったため、開閉を生涯学習課に依頼した。 常時開放施設として観光の拠点となっており、立ち寄る人が多い。																							
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																							
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○	×																				
	低下		×	×																				
常駐できるような団体が出てくれば、指定管理者制度の導入により積極的な活用が出来るようにロッカー等も設置しているが、常駐できるまでの団体が存在しないため、各種団体の関係課とも連携し、育成を図る。	(6) 事務事業優先度評価結果																							
	成果優先度評価結果																							
	コスト削減優先度評価結果																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) <input type="checkbox"/> C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) <input type="checkbox"/> D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>